

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、成績や情報が当該研究に用いられることについて対象者の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも対象者に不利益が生じることはありません。

研究課題名	理学療法士国家試験対策模試の得点推移と Grade Point Average との関連 [管理番号 : 202404-085]
研究責任者氏名	曾田 幸一郎
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2024 年 3 月 20 日 ~ 2025 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する方を研究対象とします。 兵庫医科大学(旧兵庫医療大学)リハビリテーション学部理学療法学科卒業生のうち、入学年度が 2016 年度 ~ 2020 年度で第 56 回(2019 年度) ~ 第 59 回(2023 年度)理学療法士国家試験のいずれかを受験した者
研究に用いる 試料・情報の種類	試料等 カルテ情報 アンケート <input checked="" type="checkbox"/> その他 (国試対策模試点数、GPA 等) 取得の方法: 診療の過程で取得 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (教育目的で取得した過去の記録)
研究目的・意義	理学療法士養成校では、理学療法に関する知識・技術の学修のみならず、国家試験合格に達するように学力水準を高めることが重要視されています。国家試験への取り組みは養成校として一定の水準を保ちながら実施していますが、国家試験本番までの模擬試験の得点推移については不明確な部分が多いのが現状です。そこで本研究では、後ろ向きに国家試験対策で行った模擬試験と国家試験本番の得点を調査し、国家試験本番までの得点推移のパターンを明らかにすることを目的にしました。この研究から、得点推移パターンが明らかになることで、個別学習・指導がより効果的に実施できると考えています。
研究の方法	この研究では、過去 5 年間の国家試験対策で実施した模擬試験と、国家試験本番の点数を調査します。また、対象者特性として性別、国家試験受験時の年齢、入試区分についても campus square より調査します。GPA データについては、学部教授会と教育委員会でその使用について審議を行い、承認を得てから調査をします。調査したデータから国家試験本番の自己採点点数を目的

	<p>変数と、そのほかの調査データを説明変数として決定木分析を行います。決定木分析の結果から国家試験本番の自己採点点数の分布がどのような因子により分類されるかについて検討します。</p>
<p>個人情報の 取扱い</p>	<p>収集したデータは、誰のデータが分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
<p>本研究に関する 連絡先</p>	<p>担当者所属：兵庫医科大学リハビリテーション学部理学療法学科 担当者氏名：曾田 幸一郎 [電話]（平日 9～17 時）078-304-3815 夜間・休日・不在時にはメールでの対応 mail：ksota@hyo-med.ac.jp</p>